



西都大宰府への道 — 見えてきた大宰府南郊の風景 —

〈古代都市 大宰府〉をテーマとした夏の企画展を開催します。

奈良時代の『続日本紀』に、「この府は人物殷繁(いんぱん)にして、天下の一都会なり。」と記された西都(大宰府)。北端の(大宰府政庁)を中心に、南北に(朱雀大路)が延び、碁盤の目状の(条坊)が整備された地方最大の古代都市でした。

近年では、その南郊外においても古代遺跡がひろがりを見せており、朱雀大路や九州各地からの古代道、条坊南郊外の遺跡、次田の湯(二日市温泉)などから筑紫野に広がる「大宰府」の姿を交通史の視点から紹介します。



大宰府系鬼瓦



堀池遺跡の唾壺と水注

また、平成30年は、大宰府史跡の発掘調査が始まって50周年の節目の年を迎えます。この機会に、今もなお残る古代の息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

● 会期 7月15日(土)～9月10日(日) ※月曜日休館。

● 場所 歴史博物館企画展示室

● 主な展示資料 大宰府系鬼瓦、観世音寺白玉帯、唐三彩陶枕、紫草貢進木簡、和銅八年刻書須恵器 他

● 問い合わせ先 歴史博物館

☎(922)1911

キッズ・サマー・ウィーク

「もっかんってなに?」

木簡(もっかん)は、古代の人が板状の木に文字を書いたものです。荷札や、役所などで用いられた文書など、さまざまなかたちで使われていました。

夏休みは、木簡で荷札をつくってみませんか? 古代の人が使っていた文字についても学ぶことができますよ!

● 期間 8月2日(水)～8月8日(火)、13時30分～15時30分(受付は15時まで・月曜日休館)

● 場所 歴史博物館1階学習コーナー

● 参加費 無料

● 対象 子ども(未就学児の場合は保護者同伴)

● 事前申込 不要(時間内に自由に来てください)

● 問い合わせ先 歴史博物館

☎(922)1911



夏休みは木簡を学ぼう!

五郎山古墳館

夏休み装飾古墳アート

今年も五郎山古墳館で、夏休み装飾古墳アートを行います。

装飾古墳アートは、さまざまな文様が描かれている五郎山古墳(本号裏面の文化薫道参照)の壁画にちなんで、実際に石に描いてみる体験イベントです。壁画のぬり絵やはり絵のほか、ストローを使った管玉のアクセサリー作りも行っています。

子どもから大人まで、だれでも参加できます。(参加無料、申込不要)

● メニュー

ストーンアート、ストローで管玉づくり、壁画にちなんだぬり絵やはり絵

● 期間 7月15日(土)～8月27日(日)、10時～16時 ※月曜日は休館

● 場所・問い合わせ先

五郎山古墳館(市内原田3-9-5)

☎(927)36555

※汚れてもいい格好で参加してください。
※小学生未満の人は保護者の同伴をお願いします。

